



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年11月8日

上場会社名 株式会社京都ホテル 上場取引所 東  
 コード番号 9723 URL http://www.kyotohotel.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福永 法弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 西川 治彦 (TEL) 075(211)5111  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,282	△4.7	328	△9.7	182	31.1	146	179.5
28年12月期第3四半期	7,642	1.2	364	130.2	139	—	52	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	13.21	—
28年12月期第3四半期	4.75	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	18,280	2,201	12.0
28年12月期	18,698	2,041	10.9

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 2,201百万円 28年12月期 2,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	—	—	—	3.00	3.00
30年3月期	—	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年1月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,783	—	507	—	249	—	213	—	19.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成29年3月24日開催の第98期定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことにより、決算期を毎年12月31日から毎年3月31日に変更することになりました。つきましては、本年度は平成29年1月1日から平成30年3月31日までの15ヶ月の変則決算となります。

通期業績予想につきましては、15ヶ月の業績予想としておりますので、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期3Q	11,091,400株	28年12月期	11,091,400株
30年3月期3Q	—株	28年12月期	61,394株
30年3月期3Q	11,079,121株	28年12月期3Q	11,030,008株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善傾向が継続される中、緩やかな景気回復基調が持続しました。その一方で、米国政権の政策動向はじめ不確実な海外情勢を背景に、先行きは依然不透明な状況が続いております。

京都のホテル業界におきましては、新規ホテルの開業や既存ホテルの改装、民泊の広がり等競争環境は一段と厳しさを増しておりますが、好調なインバウンド需要を背景に、宿泊部門は引き続き堅調に推移いたしました。

かかる環境下、当社におきましては、からすま京都ホテルの客室改装(84室)や京都ホテルオークラでは和食レストラン「入舟」のバリアフリー化工事、メイン宴会場「暁雲」全面改装等の改装工事をはじめ、平成28年度を初年度とする3ヵ年の中期経営計画に基づき、諸施策を着実に実行してまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は7,282百万円(前年同期比360百万円減)となりました。前年比減収となりましたが、2ヶ月に亘るメイン宴会場改装工事の影響や不採算店舗の撤退によるものが主な要因であります。一方、収益面におきましては、引き続き原価管理、経費削減に努めましたことに加え、閑散期の売上対策、不採算店舗の撤退効果もあいまって、営業利益は328百万円(前年同期比35百万円減)となりました。また、前年3月に実施いたしましたシンジケートローンのリファイナンスに伴う金融費用削減効果により、経常利益は182百万円(前年同期比43百万円増)、四半期純利益は146百万円(前年同期比93百万円増)となりました。

ホテル事業の部門別の営業概況は次のとおりです。

#### (宿泊部門)

京都ホテルオークラの宿泊部門は、団体の集客に弱さがみられたものの、邦人・外国人ともにインターネット予約による個人客が好調に推移したことにより、売上高は前年同期比55百万円増となりました。

からすま京都ホテルにおきましても、1～2月の客室改装工事に伴う販売制限がありました。インターネット経由での予約が順調に推移したことに加え、改装による客室単価の上昇もあいまって、売上高は前年同期比22百万円増となりました。

これらの結果、宿泊部門全体の売上高は2,635百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

#### (宴会部門)

京都ホテルオークラの婚礼宴会は、好調であった前年に比べ件数が大幅に減少となったこと、また一般宴会においても、前年の大型催事に代わるものがなく平年並みに推移したことに加え、メイン宴会場「暁雲」全面改装による売り止めの影響もあり、売上高は前年同期比226百万円減となりました。

からすま京都ホテルでは、修学旅行の夕食利用が低調であったことにより、売上高は前年同期を僅かに下回る結果となりました。

この結果、宴会部門全体の売上高は2,179百万円(前年同期比9.4%減)となりました。

#### (レストラン部門)

京都ホテルオークラでは、館内店舗におきまして、トップラウンジ「オリゾンテ」とテラスレストラン「ベルカント」、鉄板焼「ときわ」が順調に推移しましたが、京料理「入舟」、中国料理「桃李」、カフェ「レックコート」等で売上が減少し、売上高は前年同期比20百万円減となりました。また、館外店舗では、京料理「栗田山荘」において、エージェント経由の団体利用が減少いたしました。これに加え、閉店した4店舗分の減収も影響し、売上高は前年同期比168百万円減となりました。

からすま京都ホテルでは、お食事処「入舟」、中国料理「桃李」で夜の個室利用が順調に推移し、売上高は前年同期比10百万円増となりました。

この結果、レストラン部門全体の売上高は2,077百万円(前年同期比7.9%減)となりました。

#### (その他部門)

その他部門の売上高は389百万円(前年同期比7.7%減)となりました。

主な減少要因は「レインツリー」閉鎖に伴う物品販売売上の減少によるものです。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第3四半期累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年9月30日)		前年同期比 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	2,635,656	36.2	3.0
宴会部門	2,179,562	29.9	△9.4
レストラン部門	2,077,774	28.5	△7.9
その他部門	389,818	5.4	△7.7
合計	7,282,812	100.0	△4.7

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ418百万円減少し、18,280百万円となりました。

負債につきましては、前事業年度末に比べ577百万円減少し、16,079百万円となりました。また、純資産は前事業年度末に比べ159百万円増加し、2,201百万円となり、自己資本比率は12.0%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、前回(平成29年8月9日)に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

なお、今後の経済状況や旅行客等の動向情報を収集した上で、通期の業績見込みについて見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

また、当社は事業年度を「毎年1月1日から12月31日まで」としておりましたが、決算事務の効率化及び営業施策上の観点等により「毎年4月1日から翌年3月31日まで」に変更することになりました。

なお、決算期の変更に伴い移行期間となる第99期事業年度は、平成29年1月1日から平成30年3月31日までの15か月となります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,512,146	1,188,572
売掛金	565,370	451,302
原材料及び貯蔵品	102,046	72,014
前払費用	25,546	53,209
繰延税金資産	47,700	67,207
未収還付法人税等	3,861	-
その他	17,563	15,825
貸倒引当金	△812	△305
流動資産合計	2,273,422	1,847,826
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	10,524,303	10,551,445
構築物(純額)	58,811	44,741
機械装置及び運搬具(純額)	47,175	47,434
器具及び備品(純額)	265,679	340,610
土地	5,071,341	5,071,341
リース資産(純額)	182,657	151,051
有形固定資産合計	16,149,969	16,206,624
無形固定資産		
ソフトウェア	12,553	6,078
リース資産	146,381	124,348
電話加入権	4,429	4,429
商標権	366	329
無形固定資産合計	163,732	135,185
投資その他の資産		
投資有価証券	10,000	10,000
長期前払費用	14,681	10,787
前払年金費用	17,463	4,708
差入保証金	54,046	54,357
繰延税金資産	3,600	-
その他	12,672	11,283
貸倒引当金	△728	-
投資その他の資産合計	111,735	91,137
固定資産合計	16,425,436	16,432,946
資産合計	18,698,859	18,280,773

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	296,558	151,534
1年内返済予定の長期借入金	724,852	704,852
リース債務	76,241	70,752
未払金	590,264	573,275
未払費用	216,523	104,022
未払法人税等	17,757	50,233
前受金	74,163	104,564
預り金	65,742	42,035
前受収益	48,384	61,291
賞与引当金	-	88,350
ポイント引当金	21,076	8,911
その他	35,301	31,861
流動負債合計	2,166,865	1,991,684
固定負債		
長期借入金	13,203,666	12,538,027
リース債務	285,765	233,734
長期末払金	171,547	485,180
長期預り保証金	829,792	829,829
繰延税金負債	-	1,258
固定負債合計	14,490,770	14,088,030
負債合計	16,657,636	16,079,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,268,924	1,268,924
資本剰余金		
資本準備金	450,229	450,229
その他資本剰余金	60,000	80,265
資本剰余金合計	510,229	530,494
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	288,401	401,639
利益剰余金合計	288,401	401,639
自己株式	△26,332	-
株主資本合計	2,041,222	2,201,059
純資産合計	2,041,222	2,201,059
負債純資産合計	18,698,859	18,280,773

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
<b>売上高</b>		
室料売上	2,445,257	2,512,004
料理売上	2,942,746	2,673,865
飲料売上	582,709	546,238
雑貨売上	418,395	351,821
その他売上	1,253,807	1,198,883
売上高合計	7,642,916	7,282,812
<b>売上原価</b>		
料理原料	876,289	790,355
飲料原料	131,398	120,325
雑貨原価	322,247	276,435
その他原価	212,369	163,477
売上原価合計	1,542,305	1,350,593
売上総利益	6,100,610	5,932,218
販売費及び一般管理費	5,736,552	5,603,404
営業利益	364,058	328,814
<b>営業外収益</b>		
受取利息	21	6
補助金収入	3,367	743
受取手数料	3,284	3,119
その他	4,899	5,595
営業外収益合計	11,573	9,465
<b>営業外費用</b>		
支払利息	183,833	153,914
支払手数料	51,599	750
その他	736	832
営業外費用合計	236,169	155,497
経常利益	139,461	182,782
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	327	-
受取補償金	-	85,477
特別利益合計	327	85,477
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	31,359	98,567
借入金中途解約損	29,013	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	10,650	-
その他	8,870	2,564
特別損失合計	79,893	101,131
税引前四半期純利益	59,895	167,128
法人税、住民税及び事業税	4,775	35,449
法人税等調整額	2,767	△14,648
法人税等合計	7,543	20,800
四半期純利益	52,352	146,328

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、内外顧客の宿泊・料理飲食・宴会等を中心とするホテル経営及びホテル付随業務を事業内容としております。経営資源の配分の決定及び業績評価は当社全体で行っていること等から判断して、報告セグメントが単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。